基本方針及び推進計画策定のながれ

資料5

令和6・7年度　　令和8年度～令和9年9月

審議会

9/19 第1回　2/12 第2回　第3回　第4回　第5回　第6回　第7回

各回会議構成案

- 第2回：・現状と課題①（将来推計）（学校配置）（地域状況）（老朽化）（特別支援・不登校支援）・アンケート結果
- 第3回：・現状と課題②（通学路）（その他の学校施設・運営面の課題）（学校総コスト、その他）・市の目指す教育の姿
- 第4回：・適正規模・適正配置・一人ひとりにあった学習（特別支援、不登校等）
- 第5回：・地域と学校・望ましい学習環境・プール、給食方向性・方針骨子案
- 第6回：・これからの学校像の見える化たたき・基本方針案
- 第7回：・これからの学校像の見える化・基本方針案vol.2

実態・課題 → 目指す教育の姿・論点毎の対応策 → 方針まとめ、見える化 →

基本方針

新たな学校づくり推進計画

住民説明 合意形成等

住民説明①　2/15～

現状と課題

・学校に係る現状と課題
・アンケート結果報告

【意見交換】（全体／属性別など）

（＋α説明会開催）

検討内容中間報告（ここまでできて、残りはこれ）＋意見交換

基本方針

住民説明②　3月末
・これからの学校像（将来ビジョン）説明
・意見交換

【意見交換】

住民説明③　9月末
・推進計画（校区再編方針）

令和8年3月　　令和9年9月

詳細な将来推計

多面的な実態把握

- 通学区域状況
- 地域状況
- 施設状況
- 学校を取り巻く現状

学校施設・運営面での教育課題

アンケート

①現在～10・20年後の変化、課題の明確化

適正規模

- 現在では小規模校が小学校で2校、中学校で2校の計4校あり、来年度以降、さらに増える。
- 中学校は10年後には4校、20年後には3校で小規模校になる。
- 小学校は20年後、複式学級はないが、3校で1学年1学級となる。

学校施設・運営面での教育課題

- 該当する児童生徒が在籍する小・中学校に特別支援学級を配置。
- 不登校児童生徒が増加し、特に児童の増加が見られる。
- 不登校は教育センター内にのびのび教室を、庁内にサテライト教室を設置。

②論点の設定

第３期高砂市教育振興基本計画（教育方針例）

自立的に生きる力を培う教育	命や人権を大切にする心を育む	家庭・学校・地域が一体となった教育	安心して学べる環境づくり	生涯学習社会づくりの推進

適正規模　適正配置　求められる学習環境

これからの学校像（どのような教育を目指すか）

学年を超えたつながり

多様な学習形態

一人ひとりにあった学習　地域との関係　教職員働き方改革　小中一貫教育

論点を基に内容を具体化して方針に反映する。

適正規模 適正配置 基本方針

望ましい学習環境

（構成例）

第１章　適正規模・適正配置方針の概要
　1　方針策定の目的
　2　方針の位置づけ
　3　方針期間
第２章　学校を取り巻く現状と課題（背景）
　1　児童生徒数の推移と将来推計
　2　学校規模の現状と今後の見込み
　3　学校施設の老朽化状況
　4　通学路の現状
　5　学校施設・運営面での教育課題について
第３章　市が目指す「これからの学校像」
　1　国の動向
　2　市が目指す教育
　3　市が目指す「これからの学校像」とは
第４章 適正規模・適正配置基本方針
　1　適正規模・適正配置基本方針
　2　方針実現のための指針・基準
　　（1）望ましい学校規模
　　（2）許容する通学距離，通学時間
　3　望ましい学校規模の範囲に近づけるための方策
　4　学校施設及び運営面での教育課題に対する対応策
第５章　推進に向けて
　1　今後の検討の進め方
　2　推進方法と体制
　3　留意事項

校区再編の検討 学校再編案

（構成例）

第1章　新たな学校づくり推進計画の概要
　1　計画策定の背景と目的
　2　計画の位置づけ
　3　計画期間
第2章　学校を取り巻く現状と課題の整理（背景）
　1　児童生徒数・学級数の将来推計による改善の方向性
　2　多面的な実態把握
　（1）学校施設の概要
　（2）学校配置の状況
　（3）通学区域・通学路の状況
　（4）施設状況
　（5）学校を取り巻く現状と課題
第3章　高砂市が目指すこれからの教育環境の姿
　1　新しい時代の学びに対応した教育環境の充実
　2　高砂市が目指す学校像
　3　再編に向けての基本方針
第4章　学校再編の基本的な考え方
　1　望ましい学校規模の考え方
　2　望ましい通学条件
第5章　学校再編計画
　1　再編の基本的考え方
　2　中学校区、地域ごとの再編案
　3　学校再編と付随する関連事項の対応策
第6章　計画の推進に向けて
　1　今後の取組
　2　部局横断的な連携